

令和6年度 第2回 八幡中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年10月2日（水） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 八幡中学校 校長室
- 3 出席委員 石川 公子、杉山 貴子、江本 和真、高木 邦子、杉山 晴康、高橋 脩夫、
鈴木 政志（学校支援コーディネーター）
- 4 欠席委員 小名木 秀雄、鈴木 芳次
- 5 その他出席者 佐藤 拓男（オブザーバー）
- 6 学 校 山口 俊二（校長）、松島 賢（教頭）、中村 里恵（教務主任・CS担当職員）、
原 知子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 原 知子

10 議長の選出

小名木会長から、杉山晴康委員を本日の議長に推挙する旨の事前連絡があり、全員異議なくこれを承認した。

11 報告事項

（1）第1回学校運営協議会会議録について

教頭から学校運営協議会の会事録が学校ホームページに掲載されている旨、また会議録には委員の氏名が明記されることが義務付けられていることが説明され、各委員にこれを了承いただいた。

（2）今年度の目標について（※第1回運営協議会の確認）

教頭から前回の熟議内容と学校運営協議会発足初年度であることを加味し、本年度の学校運営協議会目標を「1年間の教育活動を通して、学校の現状を知り、よりよい学校を目指す。課題の洗い出しをする。」とした旨の報告があり、これを了承いただいた。

12 協議事項

（1）令和6年度全国学力状況調査結果および考察について

（2）今後の部活動について

13 会議記録

教頭から、委員総数7名の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和6年度全国学力状況調査結果および考察について

教務主任から令和6年度全国学力調査の全国・静岡県・浜松市の結果はホームページで公表されていることが報告され、八幡中の傾向が説明された。

結果を見ると、無回答率が低く、苦手な問題でも前向きに回答しようとしていることがわかる。今回の結果を分析し、授業改善に役立てたい。また、同時に行われた質問からは次のような傾向がみられた。

① 学習の基盤となる習慣

勉強時間が多く、ゲームやスマートフォンに費やす時間は少ない傾向にある。また、勉強は大切だと考えており、多数の生徒が授業内容はよくわかると答えている。生活習慣においては、起床・就寝時刻がほぼ毎日同じであり、生活リズムが整っている。その他新聞を読んでいる生徒が県や全国よりは高かったが、各クラスに新聞が配置されているので、もう少し活用させたいと考える。

② 規範意識・自尊感情

将来の夢や目標を持っている人は平均よりは多い。授業やその他の活動で、夢や目標を持てるような事をしてきているのでこれを継続していきたい。持てない生徒にはフォローをしていきたい。人の役に立ちたい、地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思っている生徒が多い。相談できる大人がいるかの問いに、否定的な答えと無回答の生徒を合わせると25%程度と少し多く気になる。

説明に基づき以下の発言があった。

- ・相談できる大人がいるかの問いに、否定的と無回答の生徒たちへの先生の取り組みはどうか。

(杉山貴子委員)

➡三者面談をやっている。三者面談の前には、二者面談もおこなっている。特に三年生は進路もあるので多く行っている。おとなしい生徒も含めて、一日一回は声をかけるように心掛けている。

(教務主任)

- ・無回答者の特定ができるのであれば、手を差し伸べることができると思う。(高木委員)

・夢や目標があるかの問いに無回答というのはどうなのか。よく言えば迷っているのだと思う。最近キャリア教育で「あなたの夢は？」と事あるごとにきくが、それがよいのだろうか。悩んだりする中で、ちょっとしたきっかけで見つけることもある。早い段階で決めるはどうかと思う。

(杉山晴康委員)

・最近の若い子は社会の役に立ちたいなどソーシャルな意識が高い。しかし、見える仕事が減っているのでイメージがついていかない。そのため具体的な方法より、役に立ちたい意識が先になってしまっている。小鳩カフェは自分の肉体を行使して対価を得る実体験でとてもいい。現金を使うところもいい。(高橋委員)

- ・地域の大人と接点を持つことで将来の夢や目標が見え、無回答の人数も減るかもしれない。

(鈴木政志委員)

- ・無回答が多くても良いと思う。それだけ真剣に考えているということだと思う。(石川委員)

(2) 今後の部活動について

教頭から、令和8年度9月以降の浜松市における「休日の部活動の地域移行」について説明がされた。

説明に基づき以下の発言があった。

- ・来年度入学の生徒に関わってくるが、検討中のことが多くどうしたら良いか小学生が困っている。

(鈴木政志委員)

- ・中体連から種目が減り、生徒たちの選択肢が減っている気がする。(石川委員)
- ・先生たちも自分の時間をもっていないといけない。(石川委員)
- ・令和8年度からの移行であり、地域で指導者を見つけ育成していくのであれば、もう動き出さなければいけない。(杉山晴康委員)

(3) オブザーバーより

祭などの異世代交流、地域・行政・企業との連携から違う世界が見えると思う。協働センターで行われている活動団体も高齢化が進んでいるが、中学生が団体に入る事はできない。地域部活に関連し、協働センターでも活動団体が多数ある事を知っておいてほしい。

15 その他報告事項等

教頭から、次回会議は令和7年1月29日(水)13時30分から開催する旨の報告があった。

以 上